

連合教職大学院 院生通信

令和5年度 Vol.4

ブログ掲載版

INDEX

- ・大阪教育大学 連合教職大学院(以下、大学院)の授業形態
- ・授業紹介
- ・令和6年度入試について、編集後記

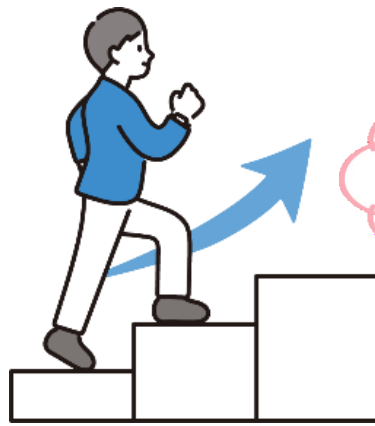
発行元

大阪市教育委員会事務局 総務部 教育政策課
大阪市教育センター 教育振興担当

今回は、
大学院の授業内容や
様子についてお伝えします。



大学院で学ぶことで…



優れたリーダー
シップを発揮し
大阪の教育を
リードする

理論に基づいた
多様なニーズへの
対応力

指導内容の
高度な理解と
実践的指導力

大学院の授業形態

対面



オンライン



ハイブリッド

授業の内容や
進め方によって、
ベストの形態で
行われます。
同じ授業でも
日によって異なる
こともあります。
現職教員の
大学院生のことも
考慮頂いています。

授業資料の受取や日々の学習の
振り返り、課題レポートの提出など、
ほぼインターネットを通じたPC上
で行われます。



授業紹介

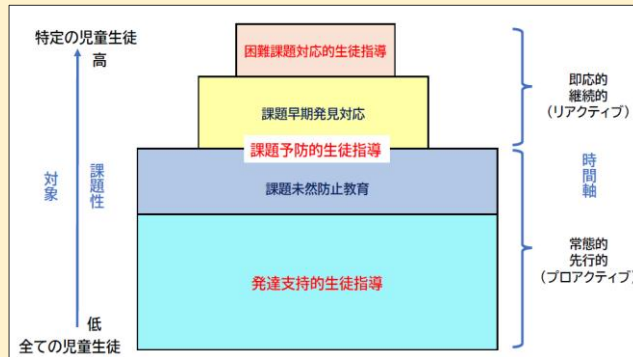
研究科共通科目 必修科目

生徒指導と教育相談の実践的課題

担当:餅木 哲郎先生/瀧野 揚三先生

昨年度、12年ぶりに**生徒指導提要**が改訂されました。いじめや暴力行為の発生件数、不登校児童生徒数、児童生徒の自殺者数など、今日的な課題を鑑みたものですが、日々現場で児童生徒の指導に取り組んでいるみなさんにあたっては、その全てに目を通すことは難しいと思います。この授業では、生徒指導や教育相談上の実践的な課題を「学術的」に理解し、教育現場で活用できる指導方法を身につけることを目標としています。

右の図は、授業(第2回~)で用いられた生徒指導の2軸3類4層構造を表したものです。例えば、いじめや不登校が起きた時、どのような支援や対応が考えられるでしょうか。教育相談や家庭訪問を行ったり、学校内外の組織的なチームによって対応を取ったりすることもあるでしょう。提要の中では、それを**リアクティブの生徒指導**としています。それに対して、今重視されているのが、**プロ(未然に)**という意味の**課題未然防止教育**や**発達支持的生徒指導**です。道徳や情報モラル教育を通して行う働きかけや、学級活動での生命(いのち)の安全教育等が当てはまります。



生徒指導提要(令和4年12月改訂版)P.19より

この授業では、**児童生徒の自己実現に、生徒指導がどのように関わっていて、どうあるべきなのか**、実践的な知見を基に考えを深めていきます。生徒指導は、決して一部の児童生徒に対するものではなく、一部の教員が行うものでもありません。**全ての児童生徒にとって安全・安心な学校**になるように、何となくの理解を、志同じくする院生の方々と共に確かなものに変えていきませんか。

援助ニーズ教育実践コース科目 必修科目

児童生徒の発達と子どもの援助ニーズ

担当:庭山 和貴先生/高橋 登先生/小松 孝至先生

この授業では、子どもの援助ニーズを**発達の視点から理解し、支援に繋げる方法**を学ぶことができます。3人の先生によって授業が行われますが、高橋登先生が担当の授業では発達的な視点をもって子どもと関わるために、認知発達の理論、ことばやコミュニケーションの発達とその支援について学びます。子どもの発達段階を知ることによって、**発達に応じた支援の検討**を始められます。この授業で学んだことをひとつ、クイズにして出題します。

学童期の語彙獲得

- 語彙サイズの推定
 - 1年生で約10,000語
 - 3年生で約20,000語
 - 5年生で約40,000語
- 言葉の仕組みの理解の深まり
 - 登山、形、...
- 精緻な意味の理解
 - あはる：いやがる、あつてる、よろこぶ、あはらる、こぼる

RTI (Response To Intervention)

日本では：海津亜希子他「読みのアセスメント・指導パッケージ」

【問題】小学校に入学してきた子どもたちは学校生活や学習の中でたくさんの語彙を獲得していきますが、5年生までにどれくらいの語彙を獲得するのでしょうか？
ちなみに、就学するまでの幼児期でだいたい3000~10000語を獲得するそうです(個人差はあります)。

【答え】5年生で約40000語の語彙サイズが推定されるので、30000語ほど新たに獲得することになります。これは、1年生から5年生にかけて**1日あたり約20の新しい語**を覚えている推定だそうです。

そんな学童期のことばにおいて、促音や撥音などの特殊音節の読み書きにつまずきが見られる子どもを早期に把握するために、「10単語聴写テスト」や「読みのアセスメント・指導パッケージ」等があります。興味のある方は調べてみてください。

学校経営と学級経営の理論と実践

担当:庭山 和貴先生/田中 満公子先生/梅川 康治先生

学校の未来を担うリーダーになるために必要なことを学ぶことができる授業です。学校経営と学級経営の理論について学び、**学校の教育活動と経営活動**を総合的に理解します。さらに、基本概念とエビデンスを獲得することで、**実践経験をさらに拡張する力**を身につけることができます。**組織マネジメント・マインド**を培うことで、あなたのリーダーシップの素地を築くことになるでしょう。

学校経営については、学校の教育活動と経営活動を総合的に把握し、学校の未来を見据えたビジョンを描く力を養います。**学校目標を具現化**するための、広義のカリキュラムマネジメントという構造化された枠組みを活用し、職員の協働、チーム学校、学級制度、個業と分業など、学校経営に不可欠なキーワードから、学校評価、学校協議会、学校と地域の連携といった重要な要素を理解し、現場での実践力を高めます。

学級経営については、学級集団の形成の観点から、学級集団のアセスメントの方法を学ぶとともに実際のロールプレイを通じて実践的に学びます。また、「ピア・サポート」という相互に支え合う活動について理解を深めます。**子どもたちの意見や考えを尊重し、受け入れる環境**を整備するための取組や、**教師と子どもたちとの信頼関係を構築**し、学級全体の成長を促進するための仕組みについて学びます。

しっかりとした基盤を築くことで、より深い理解を得ることを目的としています。自らの経験的知見を相対化し、理論的な認識と実践的な省察を循環させることで、より実践力を高めていきます。さらに、現場の課題に対し、的確な解決策を見つけ出す力を養います。校種や経験など**多様なバックグラウンドを持つ仲間との交流**を通じて、自己成長を促します。

この授業は、学校経営と学級経営の理論と実践を学び、教育の舞台で主導的な役割を果たすための必須の一步です。あなたの未来を変えるための学びの扉が開かれています。

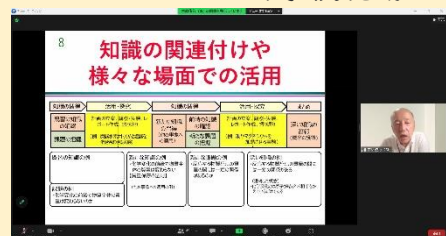
教育課程編成の今日的課題

担当:木原 俊行先生/長谷川 和弘先生

日々の授業をどのようにつくるか、**教育目標を達成するためにどのようにアプローチすればよいか**、ということは、すべての教員に共通する悩みではないでしょうか。この授業では、**教育課程の編成(カリキュラム・デザイン)**に関する基本原理とその今日的課題を理解し、**教師=カリキュラム・デザイナー**として、学校現場の課題を解決するための方法論を学修することを目標としています。

そのために、

- ・学習指導要領の変遷と新学習指導要領の特徴を整理
 - ・新学習指導要領の特徴に基づき、教育課程編成事例を分析・評価
 - ・所属校等の学力実態等の状況を踏まえた教育課程編成案を策定
- といったことを中心に学習します。



オンライン授業の様子

学習指導要領は、これまで幾度も改訂を重ねられてきました。それは、その日その時代を生きてきた人々が、次世代への願いや思いを込めてきた足跡でもあります。そんな背景に思いを馳せつつ、時に批判的に、時に自分自身の教育観と重ね合わせながら、これからの教育課程編成のあり方について学んでいきます。

先生方の軽妙かつ分かりやすい講話やクラスメイトとの熱い議論の中で、**自身の教育観をアップデート**し、それを自校の課題を解決するための**教育課程の編成を実践すること**につなげられる授業です。



考えや意見を発表



時にはWebアンケートで



3次募集

出願期間 令和5年12月25日(月)~令和6年1月11日(木)

入試日 令和6年2月11日(日)

※志願状況により、4次募集を実施する場合があります。

〈大阪教育大学 令和6年度入試情報サイト〉
右の二次元コードを読み取るか、Ctrlキーを押しなが
らクリックすると、入試情報サイトにアクセスできます。



令和6年度 入試について

大阪教育大学 大学院説明会(連合教職大学院)

日 時 令和5年12月17日(日)

11:30~12:30(最大延長は12:45)

※「Zoom」によるオンライン開催

●12月17日(日)開催分は現在募集受付中です。

(当日9時締切、定員200名までお申込み可能です)

右の二次元コードを読み取る
か、Ctrlキーを押しなが
らクリックすると、各サイトにアクセ
スできます。



説明会情報



申し込み
フォーム

編集後記

大学院で学ぶことは、教育のよりよい未来を築くための道をさらに広げることにつながります。

ただ、実際に通学するとなると、「大変なのではないか。」「両立できるのか心配だ。」という不安を抱く声を聞くこともありますが、院生たちは、情熱をもって充実した生活を工夫しながら送っています。

大学院の魅力の一つは、今回紹介した授業内容です。私たちは学校現場で抱える疑問や課題について深く考え、研究を通じて解決策の手がかりを見つけることができます。これまでの自分の考えを言葉にし、整理するプロセスは非常に充実感をもたらしています。そして、仕事、勉強、私生活のバランスを取りながら、時間を使うカスタマイズの楽しさも発見することができます。

また、大学院では先生方や先輩からのアドバイス、仲間との共有も学びの一部です。研究の方向性に迷ったときも、一緒に悩み、喜びを分かち合いながら前進できます。これが、教育への情熱を持つ仲間と共に高め合える環境も魅力です。

大学院は、教育に情熱を持つ皆さんにとって、理想的な場所だと思います。

ここでの学びは、将来の教育界での活躍に向けた基盤を築くものであり、きっと皆さんを魅了することでしょう。興味をもったら、ぜひ一歩踏み出してみてください。大学院で、新たな教育への旅を始めましょう。